

学校運営支援の専門職員養成

愛教大 課程新設を発表

愛知教育大(愛知県刈谷市)は十四日、子どもの心理面を支援するスクールカウンセラーなど、教員の手が回らない分野をサポートする専門職員を育成する教育支援専門職養成課程を、二〇一七年度から新設すると発表した。

新課程は三コースで定員計百三十人。スクールカウンセラーを育てる「心理コース」、学校などと連携して支えるスクールソーシャルワーカーや社会福祉主

事などの「福祉コース」に加え、全国の国立大で初めて、社会教育主事など事務職員を育成する「教育力バンスコース」を設置する。

一方、教員免許の取得を卒業要件としない現代学芸課程(定員二百三十二人)は廃止する。定員が減る分は、新課程に加え、教員養成課程の定員を九十二人増やす。後藤ひとみ学長は「学校、教育行政の中で、教育に精通した人材を育てたい」と話した。